

11月は「児童虐待防止推進月間」です

「児童虐待」をなくそう

どんなことが虐待になるの？

どんなときに起こりやすいの？

相談先は？

入間市教育委員会
家庭教育応援通信

2024年11月



こんにちは こちらは入間市教育委員会です。

この家庭教育応援通信では
子育てに必要な情報を皆様にお伝えしていきます。

今回は
児童虐待の防止にむけて
しつけと虐待の違い、虐待の背景、相談先
などについてお伝えしていきます。



入間市マスコットキャラクター
「いるディー」

しつけのためであっても

しつけは、こどもが自分で考え自立していけるように、その子の社会性を育む行為です。でも…

「しつけのため」

「他人に迷惑をかけないように」

このような思いであったとしても、こどもの身体に何らかの苦痛を引き起こし、または不快感を意図的にもたらす行為や罰は「虐待」です。

しつけを考えるときに、**子どもの立場で判断すること**が大切です。



体罰などの虐待は法律で禁止されています

児童のしつけに際して、体罰等を加えてはならないことは法で定められています。

1990年 子どもの権利に関する条約を国連総会で採択

1994年 子どもの権利に関する条約に日本も批准

2019年 児童福祉法等改正（子どもの権利擁護、親の体罰禁止）

2022年 民法改正（親の懲戒権規定の削除、体罰その他子どもに有害な言動の禁止）

どんなことが虐待になる？

児童虐待とは、以下の4種類に分類されます

- 身体的苦痛や不快感を意図的に与える、などの身体的虐待
- 子どもへの性的な行為、などの性的虐待
- 日常生活の世話をしない、などのネグレクト
- 著しい暴言や子供の前での暴力、などの心理的虐待



児童虐待となる行為

身体的虐待

- ・ 殴る
- ・ 激しく揺さぶる
- ・ 蹴る
- ・ やけどを負わせる
- ・ 叩く
- ・ 溺れさせる など
- ・ 投げ落とす

性的虐待

- ・ 子どもへの性的行為
- ・ 性的行為を見せる
- ・ ポルノグラフィティの被写体にする など

ネグレクト(保護の怠慢)

- ・ 家に閉じ込める
- ・ 食事を与えない
- ・ ひどく不潔にする
- ・ 自動車の中に放置する
- ・ 病気でも病院に行かない など

心理的虐待

- ・ 言葉による脅しや無視
- ・ きょうだい間での差別的扱い
- ・ 子どもの前で家族に対して暴力をふるう (面前DV) など

例えば、これらは全て体罰です

- ✓言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬を叩いた
- ✓大切なものにいたずらをしたので、長時間正座をさせた
- ✓友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴った
- ✓他人のものを取ったので、お尻を叩いた
- ✓宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった
- ✓掃除をしないので、雑巾を顔に押しつけた
- ✓冗談のつもりで、「お前なんか生まれてこなければよかった」など、子どもの存在を否定するようなことを言った

こうした行為が続くと、子どもの心に悪影響を与えます。

虐待による子どもの心の歪み

空想の世界への逃避
激しい怒り

常に緊張を強いられ
安全感や安心感が育たない
他者を信頼できない

楽しいときがいつ崩れるか
分からない不安から
ものごとを楽しめない

強者が弱者を支配するのが
自然、「弱いこと」が悪い、
と考えるようになる

暴力で問題解決を
しようとする

自分がDVの原因だと思う
罪悪感や、DVをとめられない
という無力感を感じる。
自己評価が低くなる。



どんなときに虐待が起こりやすい？ ～虐待の背景にあるもの～

子育てへのよくある不安やつまづきがきっかけとなることもありますが、特に次のようなときは虐待が起こりやすく注意が必要です

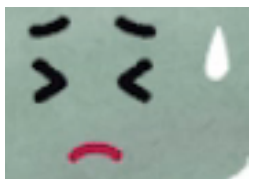
保護者にストレスが多いとき

子どもというものに対しての思い込みがあるとき

子どもをうまく受け止められないとき

夫婦の役割のバランスの崩れがあるとき

親自身が虐待を受けて育ったとき



背景① 保護者にストレスが多いとき

- 経済的に苦しく生活に余裕がない
- 育児以外にも親の介護、職場環境、近隣関係などのストレスがある
- 望まない妊娠など、準備不足で育児を楽しめない
- 保護者自身が精神的に不安定な状態にある



このようなとき、感情を抑えきれなくなるなど、虐待に追い詰められやすくなります

そうなる前に相談機関等に相談することが必要です

背景② 保護者に思い込みがあるとき

- 子どもは、自分と同じ考えや感じ方をするはずだ
- 子どもとは、言うことを聞く生きものだ
- 自分の子だけが、いつまでもできるようにならない

このような「思い込み」があると、子どもの行動に対する間違った反応に結びつきやすくなります。

子どもは親と同じではありません。独立した人格があり、自分の意見を持っていることを理解しましょう。また、子どもの発達については専門の相談機関があります。

背景③ 子をうまく受け止められないとき

- 育てにくいと感じてしまう
- 可愛く思えない
- 望んだ性別ではない
- 自分になつかない、反抗的だ



これらは、子の問題ではなく、**おとなの受け止め方の問題**なので、そこを変えることが解決につながります。

そのままにしないで、人や相談機関に自分の気持ちを伝えることが大切です。

背景④ 夫婦の役割のバランスの崩れ

子どもの誕生により、「夫婦」から新たに「親」という役割を担うことになります。この時そのバランスが崩れると虐待につながる危険性があることを理解しておきましょう

例えば、

- 子どもへの責任より夫婦としての欲求を優先してしまう
- 仕事のストレスを夫婦関係で解決できずに子どもにあたる
- それぞれの親が子どもを自分の味方にしようと競い合う、等

背景⑤ 親自身が虐待を受けて育ったとき

「虐待の世代間伝達」と言われるものがあり、虐待を受けて育った人が親になったときに、我が子に虐待をしてしまう、ということが見られます。

子育てについて学ぶ機会が少ない現代社会では、なおさら親自身が受けた子育てがモデルになりやすいと言えます。

子どもを傷つけずに子育てをする方法があります。

子育てを支援する機関や窓口がありますので、相談しましょう。

こども家庭庁では「親子のための相談LINE」を開設しています

親子のための相談LINE



「親子のための相談LINE」で検索するか、以下のQRコードを読み取って友だち登録をしてご利用ください



子育てや親子関係について悩んだときに、子ども（18歳未満）とその保護者の方などが相談できる窓口です。

- ・匿名で相談できます。
- ・相談内容の秘密は守られます。

児童相談所虐待対応ダイヤル「189」

児童虐待 相談窓口

こんなときはすぐにお電話ください！

あの子、
もしかしたら
虐待を受けているの
かも…

子育てが辛くて
つい子どもに
あたってしまう…

パパがママを殴ったと
近所の子が
言っている…

児童相談所
虐待対応ダイヤル



いちはやく
189

通告・相談は、匿名で行うこともでき、
通告・相談した人、その内容に関する秘密は守られます。

- 虐待かと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。
- 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」にかけるとお近くの児童相談所につながります。
- 通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。

入間市では様々な相談を受け付けています

入間市役所 04-2964-1111(代表)

健康福祉センター 04-2966-5513 (代表)

いずれも代表番号です
相談内容を伝えていただくと
担当者につながります



虐待とDV（ドメスティック・バ イオレンス）

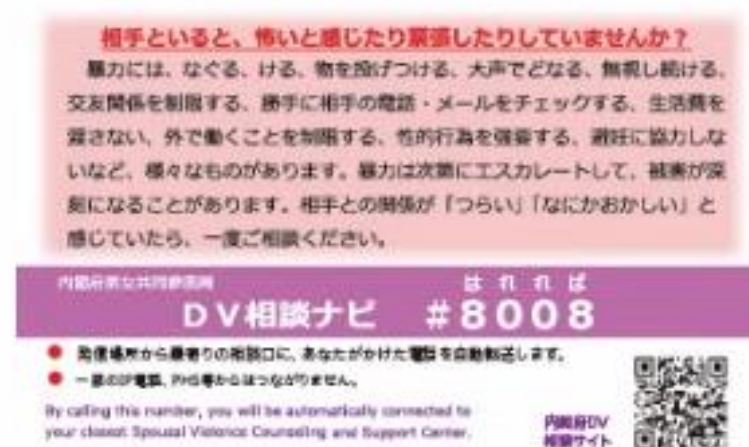
D Vとは、配偶者や恋人から受ける暴力のことです。家庭内にD Vがあると、子への虐待につながりやすくなります。

例えば、

- ・子どもがDV加害者から暴力を受ける
 - ・子の目の前でDVが行われる（面前DVという虐待です）
 - ・DV加害者の指示で被害者が子を虐待する
- といったことが起こりやすくなります。

DVの相談はDV相談ナビへ

全国共通の電話番号（#8008）からお近くの相談機関を案内します



イメージ図



子どもを傷つけずに子育てを

「オレンジプログラム」を知っていますか。

入間市では、子育てのストレスを軽減し、よりよい親子関係を築くための方法を紹介しています。

「入間市 親子のストレスケアについて」で検索してみてください。

- ・伝え方を変える
 - ・上手にほめる、叱る
 - ・問題の予防
 - ・イライラの減少
 - ・トラブル対処法
- などの子育てのヒントを紹介しています。

子どもを傷つけずに子育てを

また、子育てに悩む保護者に向けて、今では様々なプログラムが開発されています。

東京工業大学生命理工学院の黒田研究室では、「養育者支援プロジェクト」として、子育てに悩む保護者の方へ効果的なプログラムを紹介しています。

専門的なことは苦手という方には、児童相談所長考案の資料がすぐに活用できてよいでしょう。（プログラム紹介の最後にあります）

児童虐待を防止しましょう

全ての子どもは、「子どもの権利に関する条約」の精神にのっとり、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られることなどを保障される権利があります。

こどもの健やかな成長に影響を及ぼす児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき重要な課題です。

児童虐待を防止しましょう。



アンケートへのご協力をお願い

本通信の今後の向上のため、下記のURLをクリックしてアンケートにご協力ください。

クリックして下さい。

<https://forms.gle/n6DGGQxZAwTkqApJAA>



ありがとうございました